

- 日 時：令和7年8月26日（火）9:00～11:30
- 場 所：清泉女学院中学高等学校@神奈川県鎌倉市
- 参加者：21名（中学1年生～高校2年生対象、清泉女学院20名、栄光学園1名）
- 講演者：ムーンショット目標5:千葉プログラムディレクター（PD）
- 応募背景：

文系への進路を選択する生徒が多い中で、探求学習の一環として、理系分野への関心を喚起し、進路の幅を広げる機会を提供したい。本交流会では、生徒にとって身近な「食と農」を題材に、社会課題の理解や挑戦的な研究に触れることで、科学技術が社会に果たす役割について考えるきっかけと、生徒自身が「自分もこんなことをしてみたい！」という気づきを得てほしいと願っている。

■ 概 要：

<千葉PD講演「地球を未来に手渡すために」>

冒頭では、科学的視点を持つ素晴らしさと、自らの起業経験から得た「誰がその技術を欲しているのか」という視点、仲間との出会いの大切さが語られました。続いて、食と農の課題やムーンショット目標5に関する研究背景と社会的意義が紹介されました。最後に「常識を疑え！」「新しい価値を現実にするために、今は困難とされていることにチャレンジしよう」というメッセージで、生徒たちに力強いエールを送られました。

<グループワーク（分かち合い）>

生徒たちは、5グループに分かれ、「自分たちが今日からできること」や「社会課題に対して自分ならどう解決するか」等の意見を出し合い、発表を行いました。AIによる品種改良、土壌劣化や防除にも使える多機能な水、光を浴びるだけで人もエネルギーチャージ、培養肉や微生物の活用など、柔軟かつ多様な提案・議論がされました。発表後には、千葉PDより、各案に対する深掘りの視点や課題へのコメントがあり、生徒たちの学びをさらに広げる機会となりました。

■ 交流会後の生徒の感想（アンケートより抜粋）：

- ・生産者にもお金が入るような社会の仕組みについて考えたい。
- ・誰もが思いつかないアイデアを出したり、自信をもって説得できる力をつけたい。
- ・今日知ったことを、もっと調べたい。 ・他学年、他校との意見交換が良い経験。

